

Repair Top Process

高速部分めっき法

【リペアトッププロセスとは】

高速部分めっき法でめっき溶液を補修個所に供給し不溶性電極を接触させます。電源装置で電極に電気を流し、水溶液中の金属イオンから金属を析出させます。原理は一般的な電気めっき同様ですが、タンクを使用しない為現場施工が可能です

【製紙会社カレンダーロールの補修】

カレンダーロールには通常、耐摩耗性の目的で硬質クロムが加工されている。硬質クロムの剥離や品物の打痕傷などの不具合が発生した場合。現場めっきによる部分めっき補修により大幅なコストを削減する事ができます。

【肉盛り金属】

銅、ニッケル、ニッケルタングステン合金

カレンダーロール現場施工例



補修前



補修後

株式会社小野精工
TEL045-471-8282
FAX045-471-8116
E-mail:nakamachi@ono-seiko.co.jp